

## 通訳案内士試験道場韓国語で学ぶ日本③中四国解答

### 松山

- ①短い句の行間の意味をよみとる俳句
- ②難病（不治の病）で他界した彼
- ③滑稽に描いた、自伝的色合いの濃い小説「坊ちゃん」
- ④肩の凝らない（固くない）内容
- ⑤世の中のことに疎く（世間知らずで）、せっかち（短気）でどこかそそっかしいところがある教師
- ⑥あまのじゃくな坊ちゃんをとにかく溺愛する住込みのお手伝いさん
- ⑦坊ちゃんの肩を持つのは度胸がすわっていて、どうなろうが当たっていただけろという数学教師だ。
- ⑧うわべ（外見）ばかり気にするくせに、気（肝）は小さく、世間体を気にする校長
- ⑨汚い手（卑怯な手/あの手この手）を使ってまで
- ⑩教頭とともに芸者遊びをしたのが表ざたとなり、はじめはしらばくれていたが結局バレてしまった/尻尾をつかまれた美術教師など、
- ⑪辞表を出して
- ⑫八十八ヶ所霊場を時計回りに一周してお参りする世界でも類(例)のない巡礼の道だ。
- ⑬白装束（はくえ）をきて笠をかぶり、杖を手にしたお遍路さんがお参りをしてから各札所/霊場におかれている朱肉で朱印を押す光景
- ⑭安らぎを与えてくれる町
- ⑮情緒漂う古き良きものが姿を消し（影をひそめ）つつある昨今において、まれにみることだ

### 出雲

- ①この世の始まりよりずっと前から
- ②足をすすめるほどに、まるでギリシャに匹敵するほど（ギリシャ並み）の神々の国を見つけることだろう。
- ③ある穏やか/のどかな日
- ④女性たちであふれんばかりに混雑していた
- ⑤縁結びの（運命の相手と赤い糸で結んでくれる）神
- ⑥そのご利益にあやかろうと（おかげを被ろうと）して、生まれてこのかた男運が悪い

と思っている女性から、面白半分で来る女性まで

- ⑦調べてみると
- ⑧なんと 48 メートル！
- ⑨天照大神に押されてばかりの大国主命は王としてあまりにも主体性が/ふがない
- ⑩途方もなく荒唐無稽だ
- ⑪自画自賛している
- ⑫あえていうならば作り話である
- ⑬ありえない/なかったわけではない。
- ⑭一時は忘れられていた高層神殿
- ⑮野原で牛を追って絞った牛乳は、ここで生まれた筆者も子供のころよく飲んだものだ。
- ⑯無人（小さな）駅の駅舎は神社の形で、縄をなって作ったしめ縄まで張ってある。
- ⑰屋根の上についている木を×型に組んだ装飾
- ⑱全線にかけて駅のニックネーム（別名）として神々の名がつけられていたりもする
- ⑲ウグイスの鳴き声がよく聞こえ、
- ⑳一両編成の下り列車にのり、駅員もいない無人駅をいくつも過ぎていったのだが、所々でデジカメや一眼レフ、ビデオカメラなどを手にした男性をみた。
- ㉑老人の割合が高いからか、列車は優先席が多く、車いすや松葉づえを使えるようにバリアフリーになっている。
- ㉒すし詰め状態の大都市の電車と異なり、朴訥で口数の少ない老人と学生をのせてガタゴトいいながら
- ㉓桜の花が吹雪のように散ってしまった初夏には、田んぼが緑色で覆われ、アヤメ（菖蒲）の花の下でアマガエル（青ガエル）たちが歌を歌っていた。
- ㉔列車はすぐにでも停まるかのような徐行運転を始めた
- ㉕螺旋状の橋
- ㉖オタマジャクシやヤマメ、アユなどすいすい泳ぎ、川の下流の両岸にはアブラナ（菜の花）の黄色いじゅうたんが敷かれている。
- ㉗谷川は深い緑色に染まり、夢かうつつかと思うほど神秘的でさえあった。
- ㉘貴重な両生類、オオサンショウウオ
- ㉙コラムニスト兼ジャーナリスト
- ㉚心温まる/懐かしい気持ち

## 萩

- ①黒船が来航してから、激しい開港（開国）の圧力のなかで、

- ②隙あらば襲おうと獲物を待っているのも知らず、
- ③危うく危機を逃れた彼らは近代戦では日本に勝目がないことを遅ればせながら悟る（知る）こととなった。
- ④生真面目で「一にも二にも勉強」と、清貧な生活に甘んじていた。
- ⑤ただの青白いインテリ（知識人）ではなく、太く短い生涯を送ることとなった。
- ⑥「山林儒生」のように官位もない浪人（在野の）吉田松陰は、「郷校」に相当する官立学校「藩校」とは異なる、時代を担う人材を輩出するためこの塾で教鞭をとった。
- ⑦わずか 50 平米ほどしかない木造平屋建ての小さな塾だったが
- ⑧「身を捨てても正しいことをする」壮絶な精神を受け継ぐための神社が静かに鎮座している。
- ⑨窯を開いた人物
- ⑩陶磁器分野に携わる人
- ⑪小さなひびが入っているのが特徴だ
- ⑫水分と茶しぶが割れ目にしみこんで色が変わるのだ。
- ⑬使いこむほど味が出るのが萩焼の特徴だ。
- ⑭20 万円はゆうにする高価な陶磁器
- ⑮ただ緩衝材（プチプチ）で包むのではなく、大事に木箱にまで入れてくれた。
- ⑯屋外博物館のような萩では何の変哲もない古民家の軒先にも血気盛んな往時の若者たちの活躍する場面が見えるような気がする。
- ⑰萩を訪れる醍醐味

## 広島

- ①原爆が落ち、焦土と化した広島で生き残った小学生ゲンと周りの人たちの生き方をまざまざと（リアルに）描いた漫画として
- ②自叙伝
- ③核兵器を廃絶しなければならないという切なる願いとともに
- ④次第に色あせないように
- ⑤とうてい直視できないむごい惨状には、ぞっと身震いし/鳥肌が立ち、しばらく仕事が手につかないほどだ。
- ⑥あう人ごと血痕の付いたシャツを着、道端のレールはぐにやぐにやに曲がるほど熱くなり、町中焦臭いにおいがした。
- ⑦火が燃え移り

⑧辛うじて（何とか）生き残った人たちも包帯をぐるぐる巻かれたままで、正気を失ってうつろな表情をしたり、悲しみ、苦しみに打ちひしがれたりした。

⑨いばらの道

⑩年端もいかぬ男の子がもっと小さな妹の世話をする場面もいじらしいが、飢えにさいなまれ栄養失調で状態が悪化したその妹もなくなったということに胸が締め付けられ（張り裂け）るようだ。

⑪あまりに可哀そうで大粒の涙をこぼす読者も少なくない。

⑫原爆症は後々まで尾を引き/長期化し、被ばくによる腫瘍のため母親に死なれても慰謝料も出ず、また生活が苦しく高校進学も諦め、食べるため働きに出ねばならなかった。

⑬嫌がらせを受け、縁談がまとまらず、お先真っ暗な生活のなかで泣き暮らす人もいて、いたたまれないほどだ。

⑭徴用の令状を受け

⑮朝鮮人であることが知られると治療も受けられぬまま死んでしまう姿が描かれていて、これに良心の呵責を覚える日本人も多かった。

⑯群衆につかまって虐殺される米軍の捕虜もでてきて、その陰惨な（むごい）光景に思わず目をそむけてしまう。

⑰反核、反戦感情が先に立つのだ。

⑱臆病者とあざけられたゲンの父親

⑲芽を出して何度も踏まれてたくましく生き残るのだ。

通訳案内士試験道場 韓国語③中四国 氏名

①行間の意味を読み取る/②難病で他界する	
③滑稽な/④肩の凝らない内容/⑤世間知らず	
⑤せっかち/そそっかしい/⑥あまのじゃく	
⑥溺愛する/住み込みのお手伝いさん	
⑦肩を持つ/度胸の据わった/当たって砕けろ/	
⑧上辺を気にする/肝が小さい/世間体を気にする	
⑨汚い手を使う/⑩教頭/しらをきる/ばれる	
⑪辞表/⑫霊場/時計回り/例のない	
⑬笠をかぶり、杖を手にしたお遍路さん/朱肉/朱印	
⑭安らぎを与える/情緒漂う古き良きもの	
⑭影をひそめる昨今においてはまれに見ることだ	
①この世の始まり/②ギリシャに匹敵する/	
③穏やかな日/④女性で溢れんばかりに混雑する	
⑤縁結びの神/ ⑥ご利益にあやかる/生まれてこのかた	
⑥面白半分に/⑦調べてみると/⑧なんと 48m !	
⑨主体性がない/⑩途方もなく荒唐無稽だ/	
⑪自画自賛する/⑫あえていうなら作り話だ	
⑮野原で牛を追う/⑯無人駅	
⑯縄をなう/しめ縄をしめる/⑰全線	
⑱ウグイス/⑲下り列車/駅員/デジカメ/一眼レフ/	

⑳ビデオカメラ/㉑優先席/車いす/松葉づえ/	
㉒バリアフリー/㉓すし詰め列車/朴訥で口数少ない	
㉔ガタゴト㉕吹雪/あやめ/	
㉖すぐにでも停まるかのような徐行運転	
㉗螺旋状の橋/㉘オタマジャクシ/ヤマメ/アユ	
㉙両生類/オオサンショウウオ/㉚夢かうつつか	
㉛コラムニスト/ジャーナリスト/㉜温かい心	
①黒船が来航する/激しい開国の圧力/②隙あらば	
③獲物/④危うく危機を逃れる/勝ち目がない	
⑤遅ればせながら/⑥生真面目だ/一にも二にも勉強	
⑦清貧な生活に甘んじる/⑧青白いインテリ	
⑨太く短い生涯を送る/⑩官位のない浪人	
⑪藩校（十字前後の韓国語で説明）	
⑫平屋建て/⑬身を捨てても正しいことをする	
⑭陶磁器分野に携わる人/⑮ひびが入る	
⑯茶渋が割れ目にしみこむ/ ⑰使い込むほど味が出る	
⑱二十万円はゆうにする高価な陶磁器/⑲緩衝材	
⑳何の変哲もない古民家の軒先/血気盛んな	
㉑萩を訪れる醍醐味	
①原爆が落ち、焦土と化した広島/ ③核兵器を廃絶する	
④次第に色あせる/⑤到底直視できない/むごい	

⑤ぞっとする/仕事が手につかぬ/	
⑥血痕のついたシャツ/ぐにゃぐにゃに曲がる	
⑥町中焦げ臭いにおいがする/⑦火が燃え移る	
⑧かろうじて生き残った人々/包帯をぐるぐる巻く	
⑧正気を失いうつろな顔をする/⑨いばらの道	
⑩妹の世話をする場面がいじらしい/	
⑩飢えにさいなまれる/胸が締め付けられる	
⑪大粒の涙を流す/⑫腫瘍/慰謝料/生活が苦しい	
⑫食べるために働きに出る/⑬嫌がらせを受ける	
⑬縁談がまとまらぬ/お先真っ暗な生活/泣き暮らす	
⑬いたたまれない/⑮朝鮮人であることが知られる	
⑮良心の呵責を覚える/⑯群衆に捕まる/捕虜	
⑯思わず目を背ける/⑰臆病者とあざけられる	
⑰芽を出して何度も踏まれる/たくましく生き残る	